

議会だより 20号

平成21年度

各会計決算を認定

主な議決内容

○平成22年度一般会計補正予算は、10億6827万4千円を追加し、総額174億4147万6千円としました。

○保育所送迎用バス7台の購入について、日産プリンス千葉販売株式会社と契約することが可決されました。

第3回定例議会が8月25日から9月17日までの24日間の会期で開催されました。

この定例議会では、市長から提出された平成21年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか16議案が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決・認定されました。

このほか、6月定例議会で継続審議となった陳情2件を含む4件の陳情が審議され、3件不採択、1件閉会中の継続審査となりました。

平成22年第3回定例議会議決結果

議案番号	件 名	採決結果
議案第1号	経営体育成基盤整備事業（作田地区）に伴う字の区域及び名称の変更について	可 決
議案第2号	いすみ市道路線の認定について	可 決
議案第3号	いすみ市道路線の認定について	可 決
議案第4号	平成22年度いすみ市一般会計補正予算（第3号）	可 決
議案第5号	平成22年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第6号	平成22年度いすみ市老人保健特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第7号	平成22年度いすみ市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
議案第8号	平成22年度いすみ市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第9号	平成22年度いすみ市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案第10号	平成21年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第11号	平成21年度いすみ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第12号	平成21年度いすみ市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第13号	平成21年度いすみ市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第14号	平成21年度いすみ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第15号	平成21年度いすみ市水道事業会計決算の認定について	認 定
議案第16号	備品の取得について	可 決
議案第17号	平成22年度いすみ市一般会計補正予算（第4号）	可 決
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成21年度健全化判断比率について	報 告
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成21年度資金不足比率について	報 告
報告第3号	継続費の継続年度終了による精算について	報 告
陳情第2号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情（継続審査事件）	不採択
陳情第4号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情（継続審査事件）	不採択
陳情第2号	「中小業者の自家労賃を必要経費として認めるために、所得税法第56条の廃止を求める意見書」提出の陳情書	不採択



▲任期最後の定例会の様子

決算 審査 報告

平成21年度一般会計及び各特別会計決算を審査するため、8名の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、9月7日、8日の2日間にわたり委員会審査を行いました。

各会計の決算審査にあたっては、予算の執行は適正かつ効果的に執行されたかどうかを重点に審査を行い、活発な質疑が行われました。

なお、特別委員会では全ての決算が認定され、9月17日の定例議会最終日に、委員長が審査内容と結果を報告し、全ての決算議案が認定されました。

また、今後の行財政運営に反映させるよう検討されるべく、市当局に対し次の事項を委員会より指摘・要望しました。

1. 賃金や入札差金の不用額が多くみられることから、最終見込みの検証を十分に行い、減額補正の徹底をされたい。また、各事業の不用額の原因について分析され、次年度予算編成に反映し財政効率の向上を図られたい。

2. 補助金について、補助率や補助金額の妥当性を改めて検証され、基準の再検討を実施されたい。また、補助金が既得権化とならぬよう補助期間の設定、補助効果の検証による見直しを行い、補助団体の自立促進の仕組みづくりや指導をされたい。

3. 河川清掃については、協働による方策を検討され、地域住民による河川環境保全と災害防止を目的に積極的な推進を図られたい。



陳 情

◎陳情第1号 国に対して「国民健康保険に対する国庫負担の増額を求める意見書」の提出を求める陳情は、民生環境常任委員会において、閉会中の継続審査となりました。

8月9日に『いすみ市子ども議会』が開催されました。今年は市内の中学3年生26名が参加し、通常の議会で行われる一般質問が行われました。

子ども議員は本議会さながらの緊張感を持って、市政に対する鋭い質問が次々に行われ、市長はじめ、各部課長から答弁がされました。



Q&A

一般質問

市政をきく

第3回定例議会の一般質問は、8月27日に7名の議員から市政に関する諸問題についての質問があり、活発な議論が展開されました。

ここでは、紙面の関係で主な質問及び答弁の一部を掲載いたします。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(第3回定例議会の会議録は11月下旬に公開を予定しています。)

国民健康保険制度
の今後

岩井 豊重 議員

答
都道府県単位に
よる広域化の環境
が整った

岩井議員 1984年では
国保会計全体の国庫負担
率が48・9%であったが
現在は25%に激減してい
る。国庫負担を増やすこ
とが必須であるが、市の
考えは。

市長 国民健康保険法の改
正により都道府県が、国保
事業運営の広域化、国保財
政の安定化を推進するた
めの支援方針を定めるこ
とができるようになり、広
域化が図れることを期待
します。

今後、県では、市町村
国保広域化問題検討協議
会を適宜開催する予定で
あり、その推移を注視し、
県との連携を深めて国保
財政のさらなる安定化に
努力いたします。

うつ病対策

熱田 彰司 議員

答
相談者が相談し
やすい環境づくり
に取り組む

熱田議員 市として総合的
なうつ病対策ビジョンを
策定し、うつ病に対する知
識の周知や相談窓口の充
実を図る考えがあるか。

市民生活部長 市では相談
窓口として、健康面や産後
うつなどは健康高齢者支
援課、精神相談は福祉課
で随時相談を受け付けて
います。相談後は訪問を行
い、かかりつけ医への相談
を促し、さらにはかかりつ
け医から必要に応じて専
門医を紹介し、専門医への
早期受診を勧めています。
今後は、うつ病対策も
含めた総合的な自殺対策
推進計画の策定について
検討し、相談者が相談しや
すい環境づくりに取り組
みたいと考えます。

ヒブワクチンの
接種費用の助成

鈴木 麗子 議員

答
実施する方向で
検討

鈴木議員 小児細菌性髄膜
炎の予防には、ヒブワクチ
ンの接種が最良の手段であ
る。平成21年12月議会で一
般質問をしたが、その後の
進展について伺いたい。

市長 ヒブワクチンは、平
成19年1月に日本で承認さ
れ、平成20年12月から任意
の予防接種ができるようにな
りました。現在は100
カ国以上で承認され、90カ
国以上で定期予防接種が行
われています。
実施された各国では、ヒ
ブによる細菌性髄膜炎が激
減し、医療費の削減効果も
試算され、また副作用は軽
微で安全性も高いとの報告
がされていることから、医
師会等関係者の意見を聞
き、実施する方向で検討し
たいと考えます。

市民と協働の
まちづくり

荒井 正 議員

答
拡充・強化を進
める

荒井議員 市民提案事業予算
を2億円程度とって広く公
募してはどうか。

また、若者を定着させる
ための雇用創出のプロジェ
クトを市と市民と一緒に
なつて考えたらどうか。

市長 孤独死ゼロ、子育て支
援など、各種の地域課題の
解決を市民主体による協働
で進めるため、市の施策、
事業の企画段階から広く意
見、提案を募り、協働の機
会を設けます。また、市民
提案事業のさらなる拡充、
強化を進めます。
市内に企業を立地できな
いかと考えていますが、企
業のグローバル化が進む中
で困難な課題であると認識
しています。市としては、
前向きに企業立地に取り組
みたいと思います。

民生委員の定数と
管轄範囲

高梨 庸市 議員

答

改選時に必要な
委員の確保を図る

高梨議員 民生委員の管轄範囲について、ばらつきがあるのではないかと、県内ですみ市は高齢化率7位であり、今後、1人の担当世帯数が増えるのは必ずで、早目の手だてが必要と考えるが伺いたい。

市民生活部長 民生委員1

人当たりの平均世帯数は165世帯で、地域によって個々の担当世帯数に差はありますが、国の基準を満たす配置がされています。

なお、今後の改選時に、必要委員の確保を図っていきたく考えています。



個人事業及び零細
企業の活性化策

横山 正樹 議員

答

あらゆる施策を
可能な限り実施

横山議員 景気の低迷や国道周辺への大型スーパーの出店など、地元商店や食堂などの個人事業主が厳しい状況である。何らかの対策を考えなくてはいいのではないかと伺いたい。

市長 市では、商工会、商店

街連合会と協議した結果、プレミアム商品券の発行を当面の対策として、本年度は当初予算に1千万円、さらに6月補正予算に1千万円を計上し10月から発行すべく準備をしています。

なお、昨年から事業者の経営の一助として、運転資金の利子補給、本年度から住宅リフォーム補助事業を創設しました。

市では、経済団体とさら

に協議、提案しながらあらゆる施策を可能な限り実施、支援するよう努力します。

国民健康保険税条例
の被保険者に係る資
産割額の改正

田井 秀明 議員

答

改正は難しい

田井議員 国民健康保険税条例の被保険者に係る資産割額について規定した第4条は、課税原則と現在のいすみ市の社会情勢に馴染まなくなってきたと思うが、条例を改正する考えがあるか伺いたい。

市長 国民健康保険税は、地

方税法において課税が規定され、いすみ市は、所得割額、資産割額、被保険者均等割額及び世帯別平等割額の合算額による方式を条例で定めています。

県下の課税状況は、約半数の市町村において資産割を設けていて、この資産割を廃止することは、現在の

国民健康保険の財政状況から、その足りない分を他の税率に転嫁せざるを得ない状況です。
こうしたことから、現時点での改正は難しいものと考えています。

市政を知るために
議会を傍聴しませんか

第4回定例議会は12月に開催されます。

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じingために、議会を傍聴してください。本会議は傍聴規則に反しない限りどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受付をお願いします。

なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。

編集後記

平成18年12月1日から始まった、私たち議員の任期も11月30日をもって終了いたします。今回の選挙から定数を6人減とし、20人の体制となります。

議会だよりも第13号から私たちが編集委員となり、市民の皆様に見やすく分かりやすい「議会だより」となるよう編集して参りました。

今後、ご意見、ご提言がありましたらお聞かせ下さい。

議会だより編集委員

委員長 横山 正樹
副委員長 飯高 米蔵
委員 中村 松洋
委員 高梨 庸市
委員 川嶋 英之

発行 いすみ市議会

編集 議会だより編集委員会

TEL 0470-6211406

ホームページアドレス

<http://www.city.isumi.lg.jp/>

メールアドレス

gikai@city.isumi.lg.jp